

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2467号 2019年07月29日(月曜日)

《 Where is a proper deal ? 》

火曜日からは上海で米中貿易協議が再開され、その後に日米で金融政策決定会合が開かれる。イングランド銀行が金融政策を発表するのは8月1日だ。そして週末金曜日には毎回注目されるアメリカの雇用統計(7月分)が発表される。暑く、忙しい一週間だ。

最近取り上げてこなかった米中の関係がようやく動き出したのでその方を書く。米中貿易協議は火曜日からの二日間の予定。協議に臨むライトハイザー通商代表とムニューシン財務長官ら一行は29日月曜日に上海入りする。従来の米中交渉は北京で行われることが多かったが、今回は中国側の希望で上海での開催となった。習主席は北戴河会議(河北省の保養地・北戴河で毎年開かれる中国共産党の長老および現役幹部らが一同に会する会議)を8月に控えて、「米中の熱い話し合い」が近くで開催されることを避けたのではないかと、この見方がある。

上海開催にはもう一つの意味合いがあるとも言われる。それは「双方ともに、とても決着まで到達できないと思われる中で、首都の北京を避けて静かな雰囲気の中で協議をした方が得策」と考えたとの見方だ。「会議が開かれること自体は一步前進。しかし多くの問題が残っていて全面解決の見通しは全く立たない」というのが大方の見方だ。

米中間の関係は中国による米国産農産物買い付け表明などもあり「改善の兆し」がある一方で、「一層の冷え込みか」と思える動きもある。例えば中国は最近香港で起きている一連の混乱に関連してアメリカを「black hand」(黒い手)と呼んで非難した。つまり「裏でアメリカが操っている」と言いたいのだ。またフェデックスがファーウェイの荷物を誤ってアメリカに配送した問題については調査を開始する方針を明らかにした。対するアメリカ側は、貿易戦争長期化の中で中国経済が悪化するのを待っているようにも見える。

協議は3ヶ月の中断を経て再開されるが、米中とも相手に対する基本的な要求は何ら変えていない。中国は「引き上げられた関税の撤回」など従来からの要求を引っ込める気配はないし、アメリカ側は相変わらず中国の構造改革、知的財産権への保護拡大、均衡ある貿易などを要求している。双方が合意に達するにはまだ長い道のりだ。加えて、今回から中国側の協議代表を務めるとも見られる鍾山・商務長官が、これまで中国側の交渉団を率いてきた劉鶴副首相よりも対米強硬派と見られることも、早期の交渉妥結は難しいとの見方に繋がっている。

それが分かっているながら、マーケットは相変わらず米中の話し合いの行方に敏感だ。米中協議再開の報は金曜日にアメリカの一部メディアで報じられたが、直ちにニューヨーク株とドルは上昇した。円は 108 円台の後半と最近にないドル高・円安レベルになった。今の世界経済にとっての最大の懸念材料が「米中貿易戦争」である限り、関連する動きが出たらマーケットが動くのは当然だ。

リマインドしておきたいのは、そもそも米中の協議が 5 月に決裂する直前には、「話し合いは 90%がまとまっている」(クドロー国家経済会議委員長) という状態だったことだ。そうした中で、「あと数回話し合いをすれば解決策もみえて来る」との見方もある。もっとも双方の国内での議論を踏まえると、とても両国が近い将来に全面的に今の対立を解消する気配はない。なので、あるとしたら双方が不満を残した「妥協」だが、それがいつ、どんな形で出来るのか、それとも出来ないのかが焦点だと言える。

《 worldwide rate reductions 》

今週予定されている日銀の金融政策決定会合と FOMC に関しては、これまでも書いてきた。日銀については、先週の ECB で「緩和の意思表示」があったことに加えて、予想される FOMC での利下げに対応して何らかの措置を打ち出すのか、打ち出さなくても黒田総裁が追加緩和の意思を表明するのかが焦点だ。

退任も近づいた ECB のドラギ総裁はポルトガルのシントラで開催の年次フォーラム冒頭演説で、見通しが改善せずインフレ圧力が強まらない場合は「追加の刺激策が必要になるだろう」と述べた。さらに同総裁は、ECB のフォワードガイダンスの修正は可能であり、「利下げは政策手段の一部であり資産購入も選択肢だ」と語った。これまでにない緩和意思の表明とマーケットは受け止めている。新たな緩和は 9 月との見方が強い。景気も弱いこともあるが、総裁はインフレ率が高まらないことを懸念しているようだ。

欧州では強硬離脱派のジョンソン氏が首相に就任した。新首相を迎える中で、イングランド銀行は 8 月 1 日に今後の金融政策を発表する。「穏やかな利上げを続ける」としてきた従来の方針を転換する姿勢を示せば、外国為替市場では対円でも下げ続けてきたポンドに一層の売り圧力が強まる可能性がある。

ジョンソン新首相は、「私の使命は 10 月 31 日に離脱を実現すること」「EU との合意が出来なければ、合意なき離脱もある」との姿勢。今朝の BBC も「合意なき離脱の可能性が著しく高まった」と伝えている。離脱期限は既に 3 ヶ月後に迫っていて、「離脱騒動疲れ」だったマーケットが再びこの問題を材料に動く可能性がある。

FOMC は予防的に利下げをするだろう。可能性が高いのは 0.25%。今回利上げを見送ればマーケットは大きな動揺に見舞われることになるので、その選択肢はほぼなくなったと考えられる。0.5%下げの可能性は低い。0.25%の下げはマーケットでは織り込み済みで、関心はその後の頻度と深さだ。声明か後の議長記者会見でそれが示されるのかがポイントだ。

今週の主な予定は以下の通り。

- | | |
|-------------|--|
| 07月29日（月曜日） | 日銀金融政策決定会合（～30日）
6月商業動態統計 |
| 07月30日（火曜日） | 黒田日銀総裁会見
日銀「経済・物価情勢の展望」（展望レポート）
6月失業率・有効求人倍率
6月鉱工業生産
FOMC（～31日）
米6月個人所得・個人支出
米5月S&PコアロジックCS住宅価格指数
米6月中古住宅販売仮契約
米7月CB消費者信頼感指数
米大統領選に向けた第2回民主党討論会
（～31日、デトロイト） |
| 07月31日（水曜日） | 7月消費者態度指数
中国7月製造業PMI
ユーロ圏4～6月期GDP
米7月ADP雇用統計
パウエルFRB議長会見
ブラジル中銀政策金利発表
メキシコ4～6月期GDP |
| 08月01日（木曜日） | 7月自動車販売台数
10年国債入札
米7月ISM製造業景況指数
米6月建設支出 |
| 08月02日（金曜日） | 7月マネタリーベース
6月19、20日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨
米7月雇用統計
米6月貿易収支
米6月製造業受注 |

米7月雇用統計など重要経済指標の発表が続く。米経済指標の中には6月の耐久財受注など極めて強い統計も散見され、今週も一つ一つの数字が吟味されることになりそうだ。

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。暑かったですね。湿度も高かったので、土日とも午後の数時間は外にいるのがきつかった。欧州ではパリで 42.6 度というとんでもない暑さ。サハラ砂漠上空の熱波が欧州まで押し寄せているとのことですが、日本はそこまでは行かない。しかしそれでも体調を崩す暑さでした。今後対策が必要です。ソニーが「着るエアコン」の製品化を進めるなど、企業も様々な努力をしている。首や胴を冷やす製品は既に売り出されている。購買を考える時期かも知れない。

日曜日だったか、涼を求めて緑と木々が多い場所と言うことで新宿御苑に行きましたが、木陰はさすがにやや涼しかった。私は本当に暑いときには明治神宮にも行く。横の代々木公園よりも木々が大きく深い。日差しがなかなか地上に達しないほどです。こうした場所を訪れるというのも手かも知れない。新宿御苑は人が少なかった。もしかしたら 3 月 19 日から入園料を 200 円から 500 円にした影響かも知れない。

- - - - -

この週末はとっても悲しい知らせがありました。私にとってもですが、日本料理界にとって大きな悲しみであり、損失だと思います。

西新橋で京料理の店「京味」を長く出しておられた西健一郎さんが、お亡くなりになった。ご家族の話によると、亡くなられたのは金曜日の昼。入院中でしたが、朝は看護婦さんとも話をされて、それほど容体は悪くはなかったそうです。しかし昼頃に容体が急に悪化し、奥様とお嬢様二人が駆けつけた後に他界されたそうです。土曜日は西さんが亡くなられた中でも、それを伏せて「京味」は営業なさったそうです。予約で一杯だったので。

「俺はチューブに繋がれて死ぬのは嫌だ.....」と元気な頃からおっしやっていた西さん。最近足が悪くされて、歩くのもちょっと不自由されていた。しかしそれでも店に出て、何うといても話はうまいし、当然ながら料理は美味しいを通り越している。時間を過ごすのがとっても楽しい店でした。

私が新潮社から「カウンターから日本が見える」(<https://www.amazon.co.jp/カウンターから日本が見える-板前文化論の冒険-新潮新書-伊藤-洋一/dp/4106101831>) を書いている時にも、本当にいろいろ教えて頂いた。お父様も有名な料理人で、親子で日本料理の神髓のような方でした。30 歳で自分の店を出された。その頃には店を出られるお客様が「美味しかった」と言ってくれても追いかけて「本当ですか。何か気になることはありませんでしたか」と聞いたという西さん。お節を作る姿は NHK の特番にもなりました。

奥様もいらっしゃるし、立派なお嬢様お二人もおられる。「みっちゃん」という西さんと長く一緒に仕事をしてきた小豆島出身の方もいらっしゃる。私と同年の彼は元気です。でも「足」は問題で、やはり料理人は立ち仕事が多いので、足を悪くする人が多い。「少なくとも 12 月までは予約もあるので営業を続けるつもりです」とお嬢様。だから「京味」の料理は当分健在です。

いろいろ教えられる方でした。お客様にはほぼ当分に話をふられる。誰も、どのお二人も孤独にしない。話題も豊富で、「一流の方はなんでも一流」という印象が強い。ニュースや

情報にもキーンで「私はこうと思いますが、先生はどう思われます」といつも話を振られた。なによりも料理が美味しかった。毎回、幸せな気分になれた。絶品揃いで、かつ季節を堪能できた。最後の最後までいつも頭の中で「新しい料理」を考えている人でした。素晴らしかった。

日本の各地で食事をして店の方と話をして、西さんを知らない方はいなかった。全く。それだけ日本の料理界でも尊敬されていたのだと思う。本も沢山残された。その本を何回も何回も黒くなるまで読んでいる料理人を何人か知っている。先日そのうちの一人を西さんに引き合わせた。ただただご冥福をお祈りします。合掌。

それでは皆様には良い一週間をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》